

5番 佐藤安美です。通告に基づきまして、一般質問を行います。

1 猛暑による家畜粗飼料減収対策について

近年の猛暑は様々な影響を及ぼしていますが、家畜の餌となる粗飼料に悪影響を及ぼしている状況にあります。特に本年は雨不足の影響が大きく、一番牧草収穫後の二番牧草以降に大きな影響が及んでおり、牧草が死滅し雑草が繁茂し、品質低下と収量の減収が心配されます。デントコーン栽培については雨不足が原因で発育不良となり、収量の大幅な減少が懸念されます。

粗飼料の減収は畜産農家にとっては大打撃となり経営を圧迫する要因に繋がります。自然災害として受け止めなければならない訳ですが、緊急な対策として、デントコーン収量減収分に対する対応策を講じる考えは無いでしょうか伺いたします。

牧草地の再生については、昨年度に引き続き更新事業を継続し取り組んでいます。牧草地の被害状況はこれから明らかになると思われますので、現状把握することが大切だと思います。畜産農家への聞き取り調査等を実

施し、必要な対応策を講じる必要があると思います。町長のお考えをお伺いいたします。

2 町管理道路の安全対策について

本町には急傾斜地に集落が点在しており、町道291路線、林道74路線の管理道路があります。道路維持費も多額な歳出となっており改良工事に取り組めない現状だと思います。本町の道路は河川に並行して建設しており、急カーブの危険な場所にもかかわらずガードレールの未設置箇所が多数あります。住民の生活道路でもあり、産業道路でもあります。冬期間の通行は危険で事故の発生が危惧されます。町長の施政方針では町内各地の未整備箇所の整備についても、「町民が安全で快適な生活に寄与するよう改良工事の実現に向けて尽力してまいります」と表明しています。早急に調査をして整備を図るべきと思われます。町長のお考えをお伺いいたします。

以上で、本席からの質問を終わります。

5番 佐藤 安美 議員の御質問にお答えします。

はじめに、猛暑による家畜粗飼料減収対策についてありますが、近年の長引く猛暑と、降雨不足による渇水等の影響により、粗飼料の収量が減少し、各農家では、自給粗飼料の確保に御苦労されていることと承知しております。

特にも、令和5年度の猛暑の影響は大きく、令和6年度の春から牧草の死滅、雑草の繁茂、生育不良等が発生し、生産量が大幅に減少しております。

畜産経営における粗飼料の確保は、経営の安定と維持に必要不可欠であると認識しており、令和6年度に、緊急措置として「粗飼料緊急確保対策事業」を実施し、牧草ロールの購入で発生した輸送費、草地への種子追播など、掛り増しとなった経費に対し支援を行ったほか、本年度においても、繰越事業として草地更新事業を実施し、粗飼料確保に対する支援を行っているところであります。

本年度においては、町内の一部地域で、降雨不足による渇水の影響から、デントコーンの立ち枯れや生育不良、牧草においては、2番草等での生育不良などを確認しておりますので、JA、農業改良普及センター等が行う農家の聞き取り調査や、現地調査等の状況も踏まえながら、現状の把握に努めてまいります。

また、猛暑や降雨不足による渇水は全国的なものであ

り、自然災害であるとの認識は、議員と同じでありますので、国・県に対し対応策を強く要望していくとともに、その動向を注視しながら、支援策を検討してまいります。

次に、町管理道路の安全対策についてであります。道路は、町の産業振興や物流、救急救命など、日常生活を支える重要な社会資本であるとの認識の下、計画的な整備や維持管理に努めてきたところであり、本年度の道路予算は、町道維持工事費を始め2億9,400万円を計上しております。

また、これまでに整備した施設の老朽化対策など、予防保全的なインフラメンテナンスにも鋭意取り組んでいるところであります。

議員御指摘のとおり、町の道路は、急峻な山々に囲まれ、河川と並行して整備された道路が多数あり、ガードレールが設置されていない箇所があることは認識しているところであります。

このため、日常のパトロールと併せまして、危険箇所の調査を実施し、優先的に整備すべき道路を選定するなど、計画的に、危険箇所の解消に向け取り組むとともに、今後におきましても、町民が安全で快適に通行できる改良工事はもとより、適切な維持管理に努めてまいりますので、御理解願います。

以上で答弁を終わります。